

ESG 投資指数「FTSE Blossom Japan Index」、および 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に継続選定

株式会社JVCケンウッドは、ESG（環境・社会・ガバナンス）について優れた対応を行っている日本企業を対象としたESG投資指数「FTSE Blossom Japan Index」、および「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に昨年に続き選定されました。

当社グループでは、継続的なESGへの取り組みを強化するとともに、サステナビリティやESGに関連する情報の開示拡充を進めてきました。こうした取り組みが評価され、昨年に続き選定に至ったものです。両指数は、日本の公的年金事業を運営する年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）も、ESG投資の判断基準の一つとして採用するなど、企業のESGへの取り組みに注目する世界中の投資家から重要な投資判断基準として活用されています。

<「FTSE Blossom Japan Index」について>

「FTSE Blossom Japan Index」は、ロンドン証券取引所グループ傘下のFTSE Russell社が作成したESGに主眼を置いた指数で、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）を含むESGの対応に優れた日本企業を一定の評価基準に基づいて選定しているものです。



FTSE Blossom
Japan Index

<「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」について>

グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellにより構築された「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

<当社のサステナビリティへの取り組み>

当社グループは、企業理念である「感動と安心を世界の人々へ」に基づき、「利益ある成長」と「グローバルでの社会的課題解決」を両輪とするサステナビリティ経営を推進しています。その推進にあたり、当社は2023年4月にCEO直轄組織として「サステナビリティ委員会」を設置しました。これにより、2023年4月に策定した新中期経営計画「VISION2025」に沿った環境ビジョン・環境基本方針の実現やTCFD提言への賛同表明などの“環境への取り組み”に加え、イノベーションを実現する人材の育成と組織能力の強化、サプライチェーンにおける課題対応などの“社会への取り組み”の確実な実行を図っています。

今後も当社は、全てのステークホルダーの皆さまの期待に応え、誰もが安心・安全に暮らせる社会の実現の一助となるべく、サステナビリティ経営の推進活動をさらに深化させていきます。

関連サイト

- ・FTSE Blossom Japan Index spotlight
<https://www.ftserussell.com/ja/index/spotlight/ftse-blossom-japan-index>
- ・株式会社JVCケンウッド サステナビリティ Webサイト
<https://www.jvckenwood.com/jp/sustainability.html>

本資料の内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。